

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：7-9月期ユーロ圏GDP速報値

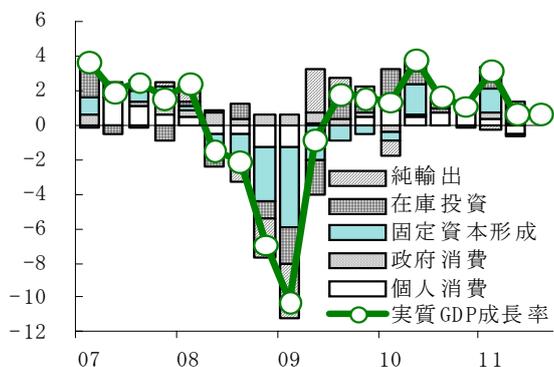
発表日：2011年11月16日(水)

～辛うじてプラス成長も、先行きはマイナス成長入りの可能性が高い～

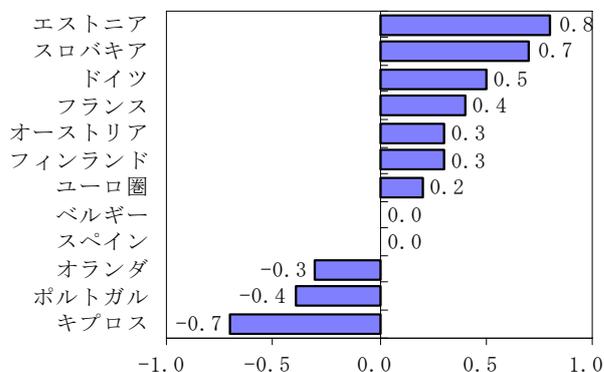
第一生命経済研究所 経済調査部  
主任エコノミスト 田中 理  
03-5221-4527

- 7-9月期のユーロ圏の実質GDP成長率の速報値は前期比+0.2%、同年率+0.6%と、前期並みの成長ペースを記録した。国別には、ドイツ(同+0.5%)やフランス(同+0.4%)など中核国の成長がユーロ圏全体の景気拡大を後押ししたものの、オランダ(同▲0.3%)が2009年4-6月期以来のマイナス成長に転じたほか、ポルトガル(同▲0.4%)やスペイン(ゼロ成長)など財政不安国が低迷した。
- ドイツでは雇用環境の改善を受けて個人消費の堅調な拡大が持続したほか、企業の設備投資や輸出も増勢を維持するなど、底堅い景気拡大が続いている。一方、フランスでは個人消費を中心に前期のマイナス成長から持ち直したが、これは前期を下押しした要因(自動車販促制度廃止に伴う駆け込み需要の反動減)の剥落によるもので実勢は数字よりも弱い。オランダのマイナス成長は、雇用環境の悪化に伴う個人消費の落ち込みが主因。オランダの失業率は4月の5.0%から9月に5.6%に上昇。
- ユーロ圏全体でみた7-9月期の成長率はドイツの景気拡大とフランスの下押し要因の剥落に支えられ、辛うじてプラス圏を維持した。だが、PMI指数などマインド系指標は何れも景気後退を示唆する水準にあるほか、9月の生産統計に急ブレーキが掛かるなど、先行きのユーロ圏の景気には一段の下押し圧力が及ぶことは確実。年末から年始にかけて景気はマイナス成長に陥る可能性が高い。

■ユーロ圏：実質GDP成長率(前期比年率、%)



■2011年7-9月期の実質GDP成長率(前期比、%)



出所：Eurostat

出所：Eurostat

■ユーロ圏GDP(前期比年率< % >、括弧内は寄与度< %ポイント >)

	名目GDP	実質GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入		
10/1-3月期	2.1	1.3	(2.3)	1.5	▲1.7	▲2.6	(2.3)	(▲1.0)	12.6	16.1
10/4-6月期	5.1	3.8	(3.1)	0.8	0.9	8.9	(0.8)	(0.6)	17.7	16.6
10/7-9月期	3.5	1.6	(1.0)	1.2	0.1	▲0.1	(0.3)	(0.6)	7.5	6.2
10/10-12月期	1.1	1.1	(0.8)	1.2	0.1	▲0.9	(0.2)	(0.3)	5.0	4.4
11/1-3月期	5.1	3.1	(3.4)	0.6	1.7	7.5	(1.3)	(▲0.2)	5.6	6.5
11/4-6月期	2.2	0.7	(▲0.3)	▲0.9	▲0.6	0.6	(0.3)	(0.9)	2.9	0.8
11/7-9月期	-	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。